

宮城教育大学では遠隔情報保障が充実！

主に…

- 利用学生の教育実習
- 他大学との連携

現地に行けない！

支援学生が足りない！

利用・支援学生は
どう思っているんだろう？



緊急インタビュー！ 遠隔情報保障の感想を教えてください！！

支援学生

- 普段のテイクより聞き取れないことや分からないことが多かった。
- 発言者の指し示すものが分からない etc…

状況が分からないことで
難しいと感じているのかな？



利用学生

- 《良い点》
- Bluetooth マイクとスマートフォンがあればどこでも情報保障が可能。
- 現地に行けるテイクが少なくても、遠隔情報保障によって情報量が増える。

《悪い点》

- 通信状態に左右されてしまう。
- ティカーとの連携が難しい。トラブル等の対応に時間がかかってしまうのでは？

他大学との連携について

《良い点》

- 交流を広げることができる。
- 他大学のタイピングが速く、刺激を受ける。

《悪い点》

- 文章をあげるタイミングが被ってしまう。
- 様子を確認できない。



こうすればもっと
よくなる！

- ビデオ通話（Skype、LINE など）を通して、ティカーが現地の状況を見られるようにする。
- 利用学生からティカーに現地の状況を知らせる努力をする。

【問い合わせ】

宮城教育大学しょうがい学生支援室 ☎022-214-3651 ✉csd@adm.miyakyo-u.ac.jp